土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　廿日市海岸（扇新開地区）耐震性能評価業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　港湾 地震・耐震

ボーリング名	R02-No.1'	**調査位置**	広島県廿日市市地御前地先			**北緯**	34° 20′ 34.5″
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			**調査期間**	令和3年 3月 24日 ～ 令和3年 3月 31日	**東経**	132° 19′ 33.2″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 4.70m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
総削孔長	24.00m	**使用機種**	**試錐機**	TOHO D-1B58	**エンジン**	YANMAR NFD12	**ポンプ** TOHO BG-3C

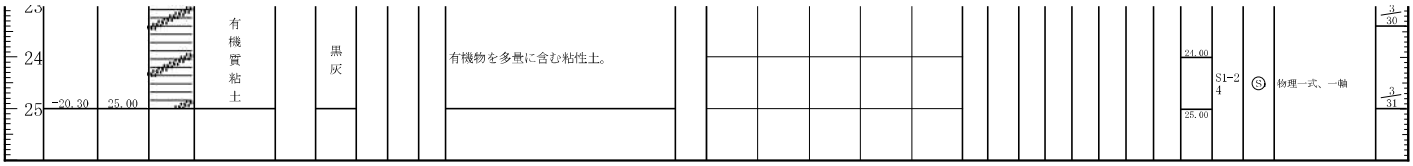
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1				礫質砂		暗灰～褐				盛土材料：マサ土 中粗砂を主体とし、角礫を混入する。	03/16 3.92
2											
3											
4											
5											
6	-1.20	5.90		礫混じり砂		暗褐				盛土材料：マサ土	
7	-2.40	7.10		礫質砂		暗灰				不均一な砂層 砂は粗砂。細礫を含む。所々に有機物を混入する。	
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14	-9.30	14.00		シルト質砂		暗灰				砂は細中砂を主体とし、細礫を含む。異気有り。 下位層より細粒分が多い。	
15											
16	-12.10	16.80		シルト混じり砂		黒灰～暗灰				全体的に灰色の中粗砂と細礫の礫質砂に黒灰色のシルトが混入する。 GL-20m付近は砂分が優勢となり GL-21m付近はシルトが優勢となる。	
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23	-18.30	23.00		有機		黒				有機物を多量に含む粘性土	
24											

標準貫入試験

深度	深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					3/24
2.00	S1-2	Ⓢ	物理一式、三軸、液状化、動的変形		
3.00	S1-3	Ⓢ	物理一式、三軸、液状化、動的変形		3/25
4.00	S1-4	Ⓢ			
5.00					
8.00	S1-8	Ⓢ	物理一式、三軸、液状化、動的変形		
9.00					
10.00	S1-10	Ⓢ	物理一式、三軸、液状化、動的変形		3/26
11.00					
18.00					3/29
18.00	S1-18	Ⓢ	物理一式、三軸、液状化、動的変形		
19.00					
19.00	S1-19	Ⓢ	物理一式、三軸、液状化、動的変形		
20.00					
24.00					3/30


23
24
25
-20.30
25.00
有機質粘土
黒灰
有機物を多量に含む粘性土。
24.00
25.00
S1-24
S
物理一式、一軸
3
30
3
31